愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

愛知登文会総会報告

第12回

令和４年６月30日発行

令和４年度総会

令和４年５月24日（火）開催

豊橋市公会堂（豊橋市）にて、令和４年度総会を開催しました。新型コロナ対策として、Zoom 配信を併用しました。ご参加いただきありがとうございました。

総会

午後２時～３時

令和４年度総会は、正会員総数66名のうちZOOMを含む49名出席（うち委任状32名）のもと、天野副会長の開会の辞で始まりました。ご来賓には、愛知県文化財室室長 菊地学様、同主査 浅岡宏司様、京都登文会 塚本喜左衛門様、大阪登文会 青山修司様、三重県の登文会「さんとうぶん」 岩見勝由様、あいちヘリテージ協議会代表世話人 下會所豊様、同副代表世話人 奥村由美様、なごや歴史まちづくりの会理事長 加藤昌之様、にご臨席賜りました。議題は全て異義なく承認されました。開催にあたり豊橋市文化財センターの皆様にご協力いただきました。

豊橋市公会堂前にて記念撮影

会長挨拶

副会長　天野啓介

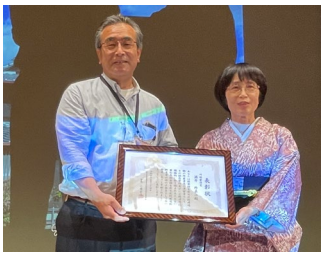
本日は会長が欠席のため、副会長の天野がご挨拶させていただきます。平成23年の登文会発足以来、10年以上に亘り理事を務めさせていただいております。その間いろいろな登文会事業に参加し、その都度感じることは文化財等建物は「行って見て聞く」ということで、特別な興味を持ち歴史への見方や感性が膨らんできます。しかし、時代と共に建物が無くなっていくことは仕方のないことですが、我々登文会及び、各県の所有者の会が所有者の悩みや相談事を包括して昇華し、その結果保存に繋がっていければ、そんな大きな力になれるのではないかと思います。また、建物を保存していくことは、子供たちに「何故こんな古い建物が残っているのだろう。」という心を抱かせ、歴史的なことに興味を持ってもらうための、啓発活動にも繋がればと思います。

豊橋市公会堂（登録文化財）

会場の様子

１開会の辞／２会長挨拶／３来賓祝辞／４議長指名
５議題
　第１号議案　令和３年度事業報告
　第２号議案　令和３年度決算報告及び会計監査報告
　第３号議案　規約の一部改正について
　第４号議案　令和４年度役員について
　第５号議案　令和４年度事業計画について
　第６号議案　令和４年度予算について
６表彰／７閉会の辞／８写真撮影

文化財の保存活用に積極的に取り組むとともに、当会の活動にご協力いただいている文化財所有者に対し表彰を行いました（第６回）。また、長年登文会役員をお務めいただいた柴田氏に感謝状を贈りました。



川田家住宅　酒井外美江様

川原田家住宅　川原田淳様

柴田家住宅　柴田正康様

公会堂見学会

午後３時 15 分～午後４時 30 分

総会後にはあいちヘリテージマネージャーの望月様と建築史家の村瀬様に案内いただき、２グループに分かれて「豊橋市公会堂」を見学しました。ロマネスク様式の建物の外観、ホールを含む１階から３階の内部、幾何学模様のドームと鷲の像がある屋上まで丁寧に説明していただき、参加者の皆様は実際に壁や手すりなどに触れながら熱心に見学していました。

公会堂大階段の前

３階特別室（旧貴賓室）

屋上のドームと鷲の像

役員体制

2 年任期の 2 年目

理事長(会長)	小栗　宏次	(小栗家住宅主屋ほか)
副会長	天野　啓介	(大野宿鳳来館本館ほか)
事務局長	若山　宏	(名古屋テレビ塔)
理事	石川新太郎	(明治村・第八高等学校正門ほか)
〃	筧　清澄	(筧家住宅主屋)
〃	氏原　久元	(岡崎信用金庫資料館)
〃	森川　信江	(森川家住宅主屋ほか)
〃	三井　蓮孝	(蓮教寺本堂ほか)
〃	後藤　泰男	(窯のある広場・資料館ほか)
〃	古川　爲之	(爲三郎記念館ほか)
〃	大辻　織絵	(旧石原家住宅)
監事	佐滝　剛弘	(城西国際大学教授)
〃	佐藤　敏博	(佐藤会計事務所)
名誉会長	長谷川良夫	(犬山城下町を守る会会長)
相談役	瀬口　哲夫	(名古屋市立大学名誉教授)
〃	杉野　丞	(愛知工業大学教授)
〃	井澤　知旦	(名古屋学院大学教授)
〃	溝口　正人	(名古屋市立大学大学院教授)
〃	西澤　泰彦	(名古屋大学大学院教授)
〃	是澤　紀子	(日本女子大学准教授)
〃	小川　芳範	(愛知県立中村高等学校校長)
〃	牧　謙治	(愛知県立木曽川高等学校校長)

令和４年度は、文化庁からの補助金はありませんが、クラウドファンディングや協賛金などを活用し、以下のような当会独自の取り組みを展開します。皆様のご協力をお願いいたします。

愛知登文会独自事業

(1) **総会・見学会**　令和４年５月24 日、開催場所：豊橋市公会堂

(2) **役員会**　２か月に１回程度開催する。

(3) **あいちの建物博覧会**（平成 26 年度より継続）
- 県民に登録有形文化財の魅力を伝えるため、建物公開・解説を独自に行う他、他団体や企業とのコラボによる建物見学ツアー等を実施する。

(4) **あいちのたてもの　明治村編**（平成 30 年度より継続）
- 冊子「あいちのたてもの」シリーズの番外編として、愛知県において有数の登録有形文化財を所有し、我が国の近代建築物の保存活用に大きな役割を果たした明治村の魅力とその意義を伝える冊子を明治村の協力のもと作成する。

(5) **登録文化財保存活用シンポジウム**（平成 29 年度より継続）
- 保存活用にあたっての様々な課題を乗り越えるための専門的あるいは事例的な情報を提供し、意見交換を行うシンポジウムを２回開催する。

(6) **保存活用事例視察**（平成 30 年度より継続）
- 県内外の登録有形文化財や先進的取り組み等の視察を企画・実施する。

(7) **愛知登文会の情報発信**
- ホームページ・フェイスブック・公式 LINE 等により、会の事業内容や取り組み経過、今後の予定などを広く広報するとともに、総会報告及び会の活動報告等をとりまとめたニュース（年２回）を制作・発行する。

(8) **表彰の実施**　登録文化財建造物の優良な保存活用を行った所有者、管理者等に対する表彰を行う。

(9) **全国各地の登文会との連携**　全国登文会を通じて各地の登文会との連携を深め、登録文化財の保存活用を推進する。